

－ 波除 －



大阪歴史博物館蔵

どうもこんにちは、桂あさ吉です。
今回のお題は「波除(なみよけ)」です。波除という地名は貞享元年(1684年)に、今の安治川の土砂を積み上げて造られた人工の山「波除山」からきてるそうです。波除山は、河村瑞賢(かわむらざいけん)が造ったことから「瑞賢山」とも、また舟人の目印になっていたことから「目印山」とも言われていました。現在、その姿はなく波除の名前だけが残っています。

人工の山と言え、すぐに天保山を思い浮かべますが、波除山の方がずっと先輩です。天保山ができたのは名前のおり天保2年(1831年)から3年にかけてで、波除山はそれより150年くらい前です。「生類憐みの令」で有名な綱吉の時代ですから古い話です。どちらの山も、安治川の土砂からできたという共通点があります。

今回の小噺は、安治川・天保山親子の会話ですので、頭を柔らかくして読んでください。

天保山(子)－ えーっ!お母ちゃん、それほんま?僕にお兄ちゃんがおったって言うのは。

安治川(母)－ ほんまやで、あんたには同じ土を分けた「波除山」というお兄ちゃんがおったんや。今おったら318歳や。

天保山 － えーっ!318歳!お母ちゃんが何歳の時に産んだん?

安治川 － えーと、お母ちゃんがちょうど…。いらんこと言わしな。

天保山 － でも不思議やな、お兄ちゃんも僕も川からできてんなあー。お父ちゃんは誰や?



安治川－ 波除山もあんたも人工の山やから、港区の人たちが造ってくれたようなもんや。港区の人をお父ちゃんと思ってええで。

天保山－ でも、そんなこと、港区の人は納得してくれるやろか。

安治川－ 大丈夫。みんな、なっとくしてくれる。みんななっとく、みな とく(港区)してくれる。

バンザーイ!!



おあとがよろしいようで。